

水が語るもの

表紙写真

滋賀県大津市「琵琶湖疏水第一トンネル入口」



目次

3

水ものがたり

世界の川と水インフラ(7) -ミシシッピ川 その2-

京都大学名誉教授 (公財)河川財団研究フェロー 池淵 周一

6

川シリーズ

琵琶湖疏水

10

世界の水

水辺空間を生かした都市再生の事例 -ヨーロッパ(その9)-

工学博士 元大阪産業大学教授 中野 雅弘

12

水害碑

昭和28年 南山城水害

14

京都の水文化(その4)

鴨川・等閑橋の法則 ~河川が持つ空間的価値~

京都産業大学 現代社会学部 教授 鈴木 康久

18

水と文学

河川に縁のある劇場文化

評論家・文化プロデューサー 河内 厚郎

22

みんなの水辺

水辺のまちづくりの新しい一歩 ~e-yo会からβ本町橋へ~

東横堀川水辺再生協議会(e-yo会) 事務局長 廣井 真由美

24

水都大阪と幻の大阪大国技館(13)

水都の会 城北川プロジェクト 代表 藤井 薫

26

排水機場訪問記

-操作関係者に聞く-

近畿水管理・国土保全研究会 梅田 和男

28

トピックス

洪水に強い社会の構築のための「流域治水」の推進



水ものがたり

世界の川と水インフラ(7)

—ミシシッピ川その2—

京都大学名誉教授 (公財)河川財団研究フェロー 池淵 周一



洪水災害と治水

アメリカの自然災害の90%は洪水災害と言われている。ミシシッピ川流域にあっては過去、大きな洪水が何度か起こっている。ミシシッピ本川上流にあっては1903年、1943年、1947年、1951年、1973年、1993年などが大きく、下流では1927年、1937年、1945年、1956年、1973年洪水などが大きい。最近では、2005年、ニューオリスの町の8割以上を浸水させたハリケーン・カトリーナ台風の直撃は大きく、過去最大の被害を出したと言われている。

て、洪水の規模は異なる。事実、1993年の洪水は中西部上流部に停滞した寒冷前線によってもたらされた大雨で上流域が大洪水に見舞われたもので、ミズーリ川では高い水位が続ぎ、広い範囲で氾濫した。しかし、ケイロより下流のミシシッピ本川ではこの上流洪水の影響はほとんどなかったという。

洪水への災害対応はどうである

う。1927年のミシシッピ大洪水はイリノイ州以南、とくにアーカンソー州に甚大な被害をもたらした。多くの黒人層が南部以外の大都市へ大移動、その移動は1960年代まで続いたという。この洪水を契機に1928年制定の洪水防除法では河川改修や堤防による防御だけでなく、堤防とダムや放水路、遊水地、排水水門、捷水路などの組み合わせ

せによる防御策が立てられることになった。陸軍工兵隊の管轄のもと、ミシシッピ委員会(MRC)は水系一貫の治水計画MR&T(ミシシッピと支川プロジェクト)をたてた。

後述するバースポイント・ニューマドリッド遊水地の周囲堤の建設、オハイオ川、アーカンソー川に治水目的のダム建設、ミシシッピ本川に24の閘門堰の建設、ニューオリンズの上流にボネケリ放水路の建設、ケイロより下流域の計15カ所での蛇行区間をショートカット、テネシー川のケンタッキーダム、カンバーランド川のパークレーダムの建設、ミズーリ川に大規模ダムの建設などが順次実施された。1960年代後半には洪水保険制度の導入、1978年にはFEMA(連邦緊急事態管理庁)の設置もなされた。

図はMR&Tプロジェクトでの計画洪水流量配分図であり、放水路、

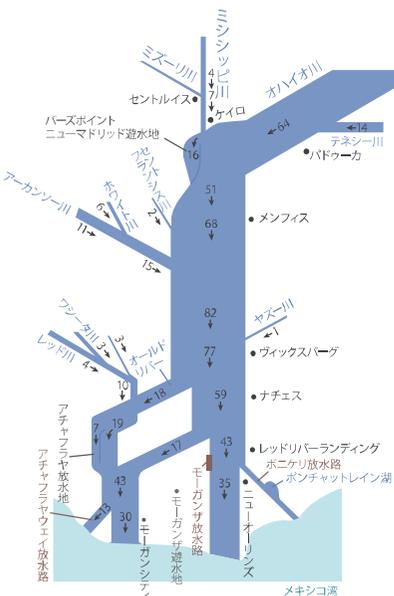


図-1 計画高水流量

ミシシッピに夕日が落ちる (ミズーリ州キャンブビル)